

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	シエラレオネ共和国ケネマ県における性教育トレーナー育成プロジェクト
2. 活動国・地域	シエラレオネ共和国ケネマ県
3. 事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	シエラレオネ共和国ケネマ県の 5 校の中学校教員が性教育トレーナーとなり、各学校の生徒 300 名、計 1,500 名へ毎年、先生達自らが包括的性教育を実施できるようにする。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	シエラレオネでは若年妊娠と性暴力が深刻で、女子の中退や教育格差が顕著です。違法な中絶による妊娠婦死亡も問題となっています。私たちは 2021 年から性教育プログラムを開始し、現在は 4 万人以上へ包括的性教育を提供しています。今後は教員を性教育トレーナーとして育成・認定することで、若年妊娠の予防と男女の意識変容を促し、女子が安心して学べる環境づくりを進めます。
6. 事業の意義・目的	① 教員を性教育トレーナーとして育成することで、限られた予算でも継続的に教育を実施できる体制をつくる。 ② 若年妊娠率の高い地域の中高生が、正しい性知識を身につけ、若年妊娠を自ら防げるようになります。
7. 主な対象者（受益者）	1 5 校 男女各 1 名 計 10 名の学校教員 2 5 校 各 300 名 計 1,500 名の生徒
8. 実施期間	(西暦) 2026 年 1 月～ 2027 年 1 月
9. 活動内容	<p>1. 【性教育トレーナーの育成（研修）】</p> <p>5 校から選出された教員 10 名（男女各 1 名×5 校）を対象に、現地法人事務所で全 5 回の研修を実施します。研修では、包括的性教育、避妊具・生理用品の使用方法、性的同意、性犯罪の基礎知識、アンケートの取り方など、授業実施に必要な内容を体系的に学びます。参加者には教材や実習用物品を配布し、JICA 基金から交通費を支給します。また、団体負担で軽食を提供し、研修を継続しやすい環境づくりを行います。</p> <p>2. 【性教育トレーナーの資格認定】</p> <p>全研修を修了した教員に対して、性教育トレーナーの修了認定証を授与します。これにより、教員が性教育を指導できる立場となり、学校現場における継続的な性教育実施体制の強化につながります。</p> <p>3. 【性教育トレーナー（中学校教員）による性教育の実施】</p> <p>認定された教員は、自校の生徒各 300 名、計 1,500 名を対象に、2 回ずつ性教育セッションを実施します。内容は包括的性教育、避妊・生理用品の使い方、性的同意、性犯罪など。効果測定のため、各校男女 15 名ずつ（計 30 名×5 校 = 150 名）に事前・事後アンケートを行います。また、事業期間中の通信費支給や、活動実績に応じたバッジ授与・表彰制度を設け、教員のモチベーション維持と活動定着を図ります。</p>
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非営利活動法人 Alazi Dream Project
2. 主な活動内容	弊団体はこれまで、貧困家庭の子どもや農村部の学校、10 代シングルマザーへの教育支援を行ってきました。2021 年からは現地法人を設立し、性教育プログラム「ハズバンドスクール」を開始、現在は男女中高生を対象に包括的性教育を提供しています。今後は出張型の性教育に加え、学校教員を性教育トレーナーとして育成するプロジェクトを 2026 年度から実施したいと考えています。